

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

本牧原地域ケアプラザ

2 事業計画

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- (1) 28年度に策定された第3期地域福祉保健計画も2年過ぎ、中間期の振り返りをしつつ、地域の皆様と協働して少しでも目標と具体的な取組が達成できるよう推進していきます。
- (2) 第4地区南部については、「本牧4南元気なまち運営委員会」の活動をベースに、【第4地区南部の“えん”結び】【第4地区南部の元気！】の取り組み、特に居場所、サロン作りを支援し、地域のネットワークづくりや地域の活性化を目指します。
- (3) 新本牧地区についても同様に、自治会・町内会活動等に協力していく中で、「子どもを中心に、地域を盛り上げていきます！」の具体的な取組に協力し、課題について取り組みます。
- (4) 本牧根岸地区（本牧元町の一部、錦町を担当）についても、「元気な本牧根岸まちづくりの会」の活動などにおいて、本牧和田地域ケアプラザとも連携し、協力していきます。
- (5) エリア内には高齢化率が30%を超える地域もあり、介護予防事業や認知症、権利擁護等に関する普及啓発に更に力を入れていきます。その為には、5職種（地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援）で連携の推進、居宅介護支援、通所介護事業を含めた地域ケアプラザ全体での事業間協働の重要性を再認識し、地域ニーズの的確な把握とともに、課題解決に向けてのエリアマネジメント力の向上を図ります。
- (6) 担当エリアの分析をすすめ、地域の課題解決に向けて、行政・区社協をはじめとした関係機関との協力体制も強化していきます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- (1) 地域の身近な相談窓口として、福祉保健にかかる高齢者、子ども、障がい者の個別相談を受けるとともに、各種関係機関と連携し、適切なサービスが速やかに提供できる体制を維持し、継続していきます。
- (2) 民児協、町内会、各種ボランティアグループや介護保険等地域の保健福祉の事業所等と積極的に連携し、更には、医療機関やその他の機関との連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせるネットワークづくりに取り組みます。
- (3) 第3期地域福祉保健計画の推進や、地域のイベント（ひとり暮らし食事会や連合町内会事業等）への参加により、地域ケアプラザの周知と新たな対象の把握に努めます。
- (4) 当地域ケアプラザにおいて分析したエリア情報を関係機関（区・区社協等）と共有しながら、総合相談にも役立てていきます。
- (5) 10月に本牧満坂で正式オープンする「HOMMOKUもくり」を会場として、出張相談会を定期的に行い地域の身近な相談場所としての機能を目指します。

(2) 各事業の連携

- (1) それぞれが担当している事業を理解し、地域包括支援センター3職種の専門性や、コーディネーター（地域交流・生活支援）の特性を事業に活かしていきます。第3期地域福祉保健計画の推進には所長と5職種全てが関わっていきます。
- (2) 地域ニーズを把握し、課題解決へ向けた事業を共催、協働していくことはもちろん、地域の個別課題についても、生活支援コーディネーターを加えた5職種が共通認識を持って取り組んでいきます。6職種会議（所長・包括・地域活動交流・生活支援）を月1回開催し、情報共有・目的の明確化を図ります。また担当エリア内の地域の行事にも、地域交流・生活支援・地域包括の職員が分担して参加していきます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- (1) 地域ケアプラザで実施する事業に必要な専門性を持った職員を適切に配置し、それぞれが連携を密にして、地域ケアプラザを利用される方の相談に応じます。
- (2) 多様な課題を抱える相談にも応じることができるよう、専門分野に関する知識だけでなく、担当エリアの地域情報にも習熟した職員の育成を行っていきます。
- (3) 職員各人の担当業務や経験年数に応じた目標を設定し、必要な研修を受講させていきます。
- (4) 法人本部において職種毎の担当者会議や研修も行っており、機能強化を図っています。
- (5) 組織内外で実施される研修に参加する機会を多く確保し、知識や技術の向上を図るとともに、研修参加者より報告を行い、職場内で研修内容を共有化していきます。
- (6) 利用者・事業者を問わず、公正・中立性を確保しています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- (1) 協力医とケアマネジャー、民生委員とケアマネジャーとの交流を図るための会合や合同勉強会を設けたり、連合町内会、地区社会福祉協議会との懇談会などに参加したりする中で、ネットワークの構築を図ります。
- (2) 子育て支援事業では、子育てサークル、子育て支援拠点、区こども家庭支援課、公立保育園、保健活動推進員、主任児童委員などと連携し、子育てサロンや親子向けの事業を開催するとともに、地域の情報収集などに努めます。
- (3) 障がい児者支援事業では、小・中学校、地域作業所、当事者団体、区社協、区役所等と連携しながら、ポレポレまつりやポレポレグッズの販売協力、障がい児夏休み余暇支援事業等に取り組みます。
- (4) 近隣の区民利用施設との共催事業や情報の共有をはかるとともに、日常的に連携をとるなかで、施設や地域住民の活動が促進されるよう努めます。
- (5) 地域のイベントや各種ボランティア団体の活動などにも、積極的に参加します。
- (6) 第3期地域福祉保健計画地区別計画の推進にあたり、区役所、区社協、地区社協、コミュニティハウスなどと連携したうえで、地域のつながりと協力を得られるよう働きかけていきます。
- (7) 第4地区南部の「本牧4南元気なまち運営委員会」、新本牧地区の「元気づくり推進協議会」を中心に、社協、民生異委員、商店会、ケアプラザなど地域のさまざまな団体が情報を共有し、連携、協力して課題解決に向けて取り組みます。

(5) 区行政との協働

- (1) 第3期地域福祉保健計画について、策定主体である区・区社協と協働して推進します。
- (2) 区内全域を対象とした区事業等にも積極的に参加し、包括としてできることを最大限行っていきます。
- (3) 区や他の包括支援センターと協議し、包括的・継続的なケアマネジメント支援計画を策定し、実施していきます。
- (4) 毎月の地域包括支援センターカンファレンス・地域支援チーム会議を充実させます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- (1) 新たな地域住民同士の交流、仲間作りの場の提供を目的にさまざまな自主事業を行います。今年度は、大人から子どもまで遊びを通じて交流する「百人一首大会」、お母さんコーラスや子どもによるダンスパフォーマンスなど地域団体による「New Years Consert」を開催し、異世代間の交流を図ります。
- (2) それぞれの事業計画において明確な目標を設定するとともに、事業終了後には振り返りを実施し、次年度の事業へと繋げていきます。
- (3) 地域の社会資源として成長していけるよう、後方支援、自主活動化に向けて、昨年に引き続き「折り紙教室」、今年度は「太極拳」「もう一度 English」「シルバー体操」のボランティアを支援していきます。
- (4) 地域交流だけではなく、生活支援、地域包括支援センターとも共催し、子どもから高齢、障がい者など地域のニーズに沿った事業を企画していきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- (1) 貸室説明会を開催し、施設利用のルール確認と同時に福祉保健活動についての意味や具体的な活動内容を提示していきます。また利用団体が率先してボランティア活動に取り組めるよう支援していきます。
- (2) 福祉保健活動団体の活動の場として貸室を利用していただけるよう、広報誌やホームページを通じて周知していきます。
- (3) 福祉保健活動団体の活動が地域での活動に広がっていくようケアプラザがパイプ役となって繋いでいきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- (1) 「ボランティア交流会」を実施し、福祉保健活動団体の活動紹介を通じて情報を共有するとともに、ボランティア同士の交流を促進します。
- (2) 区社協発行の「LET'Sボラ」や、地域活動の情報を館内に掲示するとともに、隔月で発行している広報誌「はらっぱ通信」にてデイサービスや自主事業で活動中のボランティアを随時掲載し、活動内容を紹介していきます。また、貸館説明会を通じて、参加者へ具体的な内容を記載したボランティア一覧表を配布します。
- (3) 地域活動交流コーディネーターが講習を受け、当ケアプラザでの受講者を募っていきます。また、ヨコハマいきいきポイント対象施設として、ボランティア活動を支援します。
- (4) 今年度、後方支援の「太極拳」、「もう一度 English」「シルバー体操」のボランティアを支援していきます。
- (5) 小中学生の福祉体験学習の支援を行うとともに、地域のイベント、デイサービス、地域ケアプラザ祭りボランティアへと繋げます。
- (6) 大鳥中学校のコーディネーターと連携をとり、ボランティア委員や部活動の発表の場を提供していきます。
- (7) 包括から、ボランティア希望のお客様を紹介された際は、お客様が得意とする分野で活躍できるよう支援していきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- (1) 地域で開催されているお祭りや昼食会、バス旅行などには積極的に参加し、情報収集、情報提供をします。または民児協や地区社協などと連携する中で、地域の情報を収集しニーズに合った事業を企画していきます。
- (2) 隔月で発行する広報誌「はらっぱ通信」の内容の充実を図り、地域ケアプラザや地域の情報発信のため、地域に約3000枚配付し、地域の掲示板や、回覧板にて広報します。
- (3) 事業ごとに詳しいチラシを作成し、地域ケアプラザの受付カウンターや掲示板にて広報します。また、ホームページや区イベントカレンダーも充実を図り、より速やかな情報提供に努めます。
- (4) 地域ケアプラザの来館者には積極的に声掛けをし、必要に応じてそれぞれの方に適した事業や活動を紹介します。特に新しい事業については新たな集客を図るため、広報誌をはじめ食事会などで呼びかけていきます。
- (5) 月一回の5職種会議での情報交換をもとに生活支援コーディネーター、包括支援センターと連携して地域の課題に取り組んでいきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- (1) 5職種がそれぞれ把握している情報や課題について整理し、その中で生活支援体制整備に繋がる取り組みを行っていきます。また、アセスメントを元にそれぞれ特性の異なる地域に向けて働きかけを行っていきます。
- (2) 地域支援チーム会議などを活用し、区役所・区社協・地域ケアプラザそれぞれの把握している地域情報を共有するとともに、また近隣の施設などのネットワークも活用しながら、生活支援体制整備事業推進に向けて連携・協力しながら地域へ働きかけていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- (1) 昨年整備された地域活動・サービスリストの更新、また細やかな情報収集やニーズの把握に努めるとともに、情報の活用、促進を広報誌等通じ積極的に行っていきます。
- (2) 今ある地域活動が継続していけるよう支援するとともに、包括支援センターと協働で個別ニーズやサービス利用状況等を分析、地域に必要な生活支援・介護予防の取組へと発展するよう働きかけていきます。

(3) 連携・協議の場

- (1) 「本牧4南元気なまち運営委員会」や「新本牧地区元気づくり推進協議会」など話し合いの場に参加し、地域の抱えている課題について共有し、具体的な取り組みに向け働きかけを行っていきます。
- (2) 単位自治会・町内会、老人クラブ、友愛活動員、地域活動団体などが行っている様々な活動に参加し、活動状況を把握、生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動として継続・発展するよう協力支援していきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- (1) 既存の会議を活用するなかで、他の地域ケアプラザや区社協、区役所と情報交換や情報共有を行い、見えてきた共通の課題や区域の課題を共有します。
- (2) 地域ケアプラザ内だけでは解決できない課題や区域の課題に対しては、他の地域ケアプラザ、区役所、区社協、また地域の福祉団体や企業等とも連携し、課題解決に向けて取り組みます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- (1) 民児協、町内会、各種ボランティアグループ等の会合に参加し、住み慣れた地域で安心して暮らせるネットワークの形成に協力していきます。多方面からの情報収集に努め、今まで把握しきれなかった個別ケースの相談援助に繋げていきます。
- (2) 個別・包括エリアでの地域ケア会議の開催を通じて、多様な関係機関との連携を図り、ネットワークの維持と地域包括ケアシステムの充実を目指します。

②実態把握

- (1) 町ごとの相談・訪問件数を分析し、より詳細な地域分析を行います。
- (2) 元気づくり推進協議会・民児協・連合町内会・大規模店舗等と連携を強め、地域課題の把握と情報共有を継続します。
- (3) 地域支援チーム会議や地域包括支援センターカンファレンスを通して、関係機関と情報共有を図ると共に、担当エリアの地域分析を進めます。

③総合相談支援

- (1) 地域の身近な相談窓口として、福祉保健にかかる個別相談を受け、各種関係機関と連携し、常に適切で速やかなサービスが提供できる体制を維持します。
- (2) 地域包括支援センター3職種の専門性を活かし、複雑化するケースにはチームとして迅速に適切に対応します。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- (1) 横浜市での市民後見人の取り組みの普及を考慮して、「成年貢献サポートネットワーク」に参加し、関係機関・専門職能団体との連携を強化・維持します。
- (2) 個別相談でも、多様な専門職と連携し、課題の速やかな解決を図ります。問題発生を未然に防ぐよう日頃からの連携を継続します。
- (3) 終活、詐欺商法に関しては、積極的に地域の会合に出向いて「出前講座」を行って、引き続き地域住民への終活、詐欺商法に関する周知を行います。
- (4) 介護保険事業所や地域関係者と密に連絡を取り、日ごろから高齢者に働きかけ、消費者被害を未然に防ぎます。

②高齢者虐待への対応

- (1) 高齢者虐待防止事業指針に基づき、民生委員、町内会、介護保険サービス事業者、医療機関、行政機関と連携し、虐待の早期発見、防止を進めます。
- (2) ネットワークミーティング等に参加し、関係者間での情報共有を行い、家族支援を含めた支援の報告性を共有します。

③認知症

- (1) 認知症サポーター養成講座に、気軽に受講ができるよう地域のお店を借り、少人数でも、回数を多く行うことで、認知症の理解者を増やしていきます。伝え方、ツールを工夫し、キャラバンメイトの負担も軽減できる、サポーター養成講座を企画していきます。
- (2) グリーンリーフ地域勉強会の認知症サロンを、毎月開催していきます。認知症の介護で悩んでいる方がいつでも参加できるように設定をしています。また就労をしている方も参加しやすい曜日も設定し、情報を発信し内容も充実させていきます。(助言者：認知症の人と家族の会)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (1) 包括エリアの民生委員との顔の見える関係づくりを行う為、日常的に介護支援専門員やサービス提供事業者との橋渡しを行います。
- (2) 民生委員と介護支援専門員等との交流勉強会を開催します。
- (3) 地域住民と地域の諸団体(連合町内会、民生委員、地区社協等)、関係機関(区・区社協等)の連携が推進される提案を行い、実施していきます。

②医療・介護の連携推進支援

- (1) 当施設の協力医や臨床心理士、地域の歯科医、薬剤師などの医療専門職を講師に招いたグリーンリーフ地域勉強会を開催して、地域の介護支援専門員や介護保険サービス事業所従事者等と医療機関との連携を支援します。
- (2) 所内においても、定期的な勉強会を開催し、認知症や個々に課題をもったケースに関する理解・情報共有を深めます。
- (3) 個別ケースの相談を通して、総合病院の医療相談室や地域の開業医等との関係を構築していきます。

③ ケアマネジャー支援

- (1) 包括エリアで活動する介護支援専門員のスキルアップや地域ネットワーク構築支援の為、グリーンリーフ地域勉強会で、臨床心理士による勉強会や認知症サポーター養成研修・認知症サロンの開催、地域のフォーマル・インフォーマルサービスについての勉強会を開催します。
- (2) 「かいごのWa!なか」ケアマネ部会に対しては、区内で活動している介護支援専門員全体のスキルをあげる研修等を行い、介護支援専門員の自主的な活動の相談支援に努めます。
- (3) 中区内包括支援センター主任ケアマネジャーと共催し、月1回ケアマネサロンを開催します。気軽に相談できる居場所・介護支援専門員の現状把握、地域の資源づくり・事例検討会などを行い、介護支援専門員を支えていきます。
- (4) 地域ケア会議を積極的に開催し、関係機関との調整や助言等の支援を行います。
- (5) 支援困難事例の相談に対応し、各専門機関や地域の関係者の連携の下で具体的な支援内容を検討できる地域ケア会議を開催し、支援を行います。
- (6) 中区内地域包括主任ケアマネジャーが主催して、中区内の新任介護支援専門員に対する研修・実習を行います。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (1) 地域の高齢者の方が抱えている問題や実態の把握を行い、地域の介護支援専門員が高齢者の自立に資するケアマネジメントの助言、支援を行う為、行政職員、民生委員、町内会役員、その他地域の構成員、介護サービス事業所、在宅医療の関係者と連携を図り、強化しながら地域の課題に取り組んでいきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (1) 要支援者・介護予防ケアマネジメント対象者の主体性・意欲を引き出すような、目的志向型のケアマネジメントを実施します。またインフォーマルサービスやサロン催し等地域資源を活用でき、地域とのつながりがもてるようなケアプランの作成に努めます。
- (2) 介護予防プラン・介護予防ケアマネジメントを外部居宅介護支援事業所に委託する場合も同様に、担当ケアマネジャーがインフォーマルサービスや地域資源を活用できるよう適切なケアプラン作成を支援します。契約の段階でアセスメントと地域資源が結びつくよう地域やケアプラザの催し事業等は積極的に紹介していきます。介護保険サービスを開始しても地域とのかかわりが継続できるようなケアプラン作成を促していきます。
- (3) 指定介護予防支援事業、横浜市の介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防ケアマネジメントに関する研修を地域の介護支援専門員に向けて開催します。その際区、他包括支援保健師職、必要に応じ主任介護支援専門員とも協働して開催していきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- (1) 地域包括支援センターの看護師が中心となり、また地域の運動指導員、栄養士、歯科衛生士を講師に招き介護予防講座を開催して高齢者が身近な地域で介護予防を意識できるよう具体的な取組を始めるきっかけとなる機会を提供します。
【介護予防普及啓発事業 介護予防教室 ケアプラザ、横浜市高齢者住宅相談室にて2コース共に1回/月開催】また毎回個別の相談にも対応していきます。
- (2) 現在5か所ある元気づくりステーションにおいてそれぞれの地域の方が楽しみながら参加できるよう地域資源を生かし高齢者自身が介護予防を意識した生活を続けられるよう支援していきます。また、昨年度から地域で開催している介護予防教室を自主化して継続出来るよう支援していきます。
- (3) 地域の担い手やボランティアの定例会に出向き介護予防、認知症予防に関する知識を習得してもらい、自身の活動に生かせるよう講座を開催します。6回/年本郷町見守隊他予定【地域介護予防活動支援】
- (4) ケアプラザを拠点としている団体の活動が活発化し、また新しい仲間を増やすことが出来るよう、地域活動交流が毎年開催する貸し室説明会時に作業療法士による講座を受講してもらい健康増進と活動の意義について理解をしてもらいます。【5月に2回開催】

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (1) 地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設ですが開所後18年目となり、施設の維持管理にかかる費用も増加してきています。事故防止や設備の不具合等がないように、空調設備、消防設備、エレベーター、自動ドア、機械整備、冷暖房機器等の保守、点検を定期的に行うとともに、中長期的な修繕計画の策定を検討します。
- (2) 管理、保守を委託している業者との契約については、毎年更新時に内容を検討し、日々の連絡も密に行います。
- (3) 日常清掃や消耗品の補充などといった各箇所の日常の管理を通して、利用される皆様が安全に、気持ちよくご利用いただけるように努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- (1) 地域ケアプラザの業務は多岐にわたっていますが、それぞれの業務について全職員が常に優先順位を意識し、時間外勤務においても適正な執行に努めます。
- (2) 労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部による一括処理など、業務や役割を分担しながら事務の効率化に努めます。
- (3) 建物管理、保守、送迎車両のリース等委託業者の選定にあたっては電子入札を実施するなどして経費節減に努め、節電、省エネにも積極的に取り組みます。

ウ 苦情受付体制について

- (1) 法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。
- (2) 法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。
- (3) 館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。
- (4) 事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (1) 法人では、東日本大震災を踏まえ防災マニュアルの見直しをはじめとしたプロジェクトを発足させ、地域ケアプラザ毎のサービス提供継続計画（BCP）を策定しています。当地域ケアプラザにおいても、地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定しており、中消防署を講師に迎えた年2回の防災訓練では、通常の避難訓練に加えた心肺蘇生・AED訓練などを実施し、緊急時に職員が適切な対応が取れるよう災害時に備えています。
- (2) デイルームが2階の為、現在使われていない避難用スロープを利用できるようにするとともに、従来のやり方と変更し、歩ける方は1階に下りてきてもらう防災訓練にしていきます。
- (3) 横浜市から福祉避難所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として受け入れます。また、備蓄物資を管理するとともに、行政との連携を図ります。
- (4) 中区で行っている「特別避難場所会議」に出席し、情報伝達訓練を行います。その訓練もどの職員もできるようにし、いざという時に備えます。
- (5) 防犯については、夜間機械警備等を行い、安全に努めます。

オ 事故防止への取組について

- (1) 介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするるとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。
- (2) 所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。
- (3) 毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (1) 地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。
- (2) 法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があったさいには職員会議、デスタッフ会議等で共有します。

キ 情報公開への取組について

- (1) 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、法人で「情報公開規程」を定めています。情報開示の請求があった場合には、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。
- (2) 広報誌（はらっぱ通信・デイ便り）やホームページ等を活用して、各種事業に関する情報を幅広く市民の方へ提供できるようにします。

ク 人権啓発への取組について

- (1) 法人で、年1回全職員向けに「人権研修」を行い、受講できなかった職員には地域ケアプラザ内で伝達研修を行います。
- (2) 全職員に対し、年1回の個人情報保護研修と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- (1) 良好な環境維持のために省エネルギー対策、ごみの減量化に努めます。節電、節水をこまめに行い（雨水タンクの活用）、コピー用紙の裏面使用や封筒の再利用を行うとともに、資源ごみの分別収集を徹底します。
- (2) 地域ケアプラザの樹木の管理については、専門業者に委託しています。また、「花やぐまち事業」などによる植栽で、環境保全や環境美化にも配慮します。
- (3) 地域ケアプラザの樹木以外の季節の花々の手入れを地域のボランティアが行うことにより、季節感を感じることができるようになっています。
- (4) 夏場に予測される電力事情の課題にも、行政機関等と連携を密にして情報の収集を図り、節電等に取り組みます。
- (5) 建築物環境衛生管理、空気環境測定、簡易水質検査、害虫駆除等を定期的に行います。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

《職員体制》

地域包括支援センター職員・・・保健師担当看護師
主任介護支援専門員
社会福祉士 各1名
非常勤従事者・・・予防プランナー 1名

《目標》

- (1) 介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。
- (2) 地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源（インフォーマルなサービスも含む）も取り入れた計画を作成します。
- (3) 介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防事業を一般高齢者ととともに要支援高齢者、事業対象者も一緒に参加できる内容で企画、運営します。また、通年を通して開催することで生活機能改善や行動変容を促す目的の講座（ロコモ予防、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防）を適宜受けられるようにします。委託先の居宅介護支援員にもインフォーマルサービスとして活用できるように積極的に働きかけ、高齢者の方の外出や運動、生活習慣を見直すきっかけとして活用してもらいます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
130	130	130	130	130	130
10月	11月	12月	1月	2月	3月
130	130	130	130	130	130

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤専従 3名
 常勤兼務 2名
 非常勤専従 1名

《目標》

○自立支援、認知症支援、医療連携○

- (1) 在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。
- (2) ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の地域事業（インフォーマルサービス）の情報提供もできるようにします。
- (3) 退院後も在宅生活が安心して送れるように主治医、関係機関等と連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。
- (4) 認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々で行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。
- (5) 地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして、所内の他部門との連携を図り、多問題ケース等を積極的に受託します。
- (6) 介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。

《実費負担》

- (1) 通常のサービス提供区域を越える地域の訪問・出張する必要がある場合には公共交通機関の場合、公共交通機関の運賃分の実費をいただきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) 法人内の会議や研修、「かいごのWa! なか」を通して介護保険改正に関する情報の収集やスキルアップに努めます。
- (2) 特定事業所として質の高い支援を行うため主任ケアマネジャーを配置し、お客様の相談に随時対応できるよう24時間相談体制とします。また、今年度も介護支援専門員の実習生を受け入れます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
160	162	164	166	168	170
10月	11月	12月	1月	2月	3月
172	174	176	178	180	183

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 要介護1～5の認定を受けられた方を対象に、自立した日常生活を営むことを目的として、お客様、ご家族のご希望を踏まえ、ケアマネジャー等と支援内容を検討しながら入浴、食事等のサービスを提供していきます。
- ストレッチを含む機能訓練、曜日レクリエーション、戸外訓練を実施いたします。
- ご家族への支援として「家族会」を定期的に開催し、ご家族との交流も深めていきます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 負担割合	(1割負担)	(2割負担)
(要介護1)	692円	1,383円
(要介護2)	816円	1,632円
(要介護3)	947円	1,893円
(要介護4)	1,076円	2,151円
(要介護5)	1,205円	2,410円
● 食費負担	650円	
● サービス提供体制強化加算Ⅱ	7円	13円
● 入浴加算	54円	108円
● 中重度者ケア体制加算	49円	97円

※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ27名、運転手9名、看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名

《目標》

今年度は、季節の行事、バイキング、松花堂弁当等の行事食、曜日レクリエーション、個別のニーズに合わせた機能訓練、戸外訓練を充実させ、お客様の意欲の向上と残存機能の維持向上につながるよう取り組みます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

編み物、囲碁、将棋、麻雀、シニアリトミック等、お客様の要望にお応えし曜日レクリエーションに反映しています。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
742	778	802	844	853	830
10月	11月	12月	1月	2月	3月
884	849	789	757	749	752

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・食事・体操・入浴等の介助、見守り）
- 健康状態の確認 送迎 食事 体操 レクリエーション 機能訓練
- ご家族への支援として「家族会」を定期的に開催し、ご自宅では見られないお客様の様子を見ていただき、ご家族との交流も深めていきます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 負担割合	（1割負担）	（2割負担）
（要介護1）	1,072円	2,144円
（要介護2）	1,188円	2,376円
（要介護3）	1,305円	2,609円
（要介護4）	1,422円	2,844円
（要介護5）	1,539円	3,077円
● 食費負担	650円	
● サービス提供体制強化加算Ⅱ	7円	13円
● 入浴加算	55円	109円

※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金が加算されます。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員5名、介護職員1名、デスタッフ27名、運転手9名、看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名

《目標》

- ・ 安心して穏やかに過ごせる環境を作り、お客様に寄り添ったサービスを提供します。
- ・ 心地よい疲れで帰宅する事で、ご自宅で穏やかに過ごせるよう支援します。
- ・ 在宅生活を継続する為、ご家族様には認知症の方へのかかわり方の大切さを伝える機会を作ります。
- ・ 職員には、介護のプロとしてご家族の不安を取り除ける知識と技術を身に着ける勉強会、研修会、事例検討会の機会を作ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

お客様の想いや状況を把握し、一人ひとりのお客様が安心して穏やかに過ごせる環境を整えることで、ご自宅での生活を続けられるよう適切な支援方法を検討し、実施してまいります。ご自分で触ったり作ったりする体験や、五感を使って季節を感じるプログラム（干し柿作り、鍋料理レクリエーション等）を提供します。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
200	229	242	262	266	262
10月	11月	12月	1月	2月	3月
264	250	245	243	247	266

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 要支援1・2の認定を受けられた方を対象に、自立した日常生活を営むことを目的として、ご本人、ご家族の希望を踏まえ、ケアマネジャー等と支援内容を検討しながら入浴、食事等のサービスを提供していきます。
- ストレッチを含む機能訓練、曜日レクリエーション、戸外訓練を実施いたします。
- ご家族への支援として「家族会」を定期的を開催し、ご家族との交流を深めていきます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 負担割合	(1割負担)	(2割負担)
(要支援1)	1,766円	3,531円
(要支援2)	3,621円	7,241円
● 食費負担	650円	
● サービス提供体制強化加算要支援1	26円	52円
要支援2	52円	103円
● 運動器機能向上加算	242円	483円

※ 介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ27名、運転手9名
看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名

《目標》

今年度は、運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

編み物、囲碁、将棋、麻雀、シニアリトミック等、お客様の要望にお応えし曜日レクリエーションに反映しています。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	16	16	16	16	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	16

平成30年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,575,000		16,575,000	16,575,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	3,727,161		3,727,161	3,727,161	0	
収入合計	24,292,161	0	24,292,161	24,292,161	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427		11,985,427	0	11,985,427	
本俸	8,934,114		8,934,114	0	8,934,114	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	928,668		928,668	0	928,668	法定福利費支出
手当計	1,192,109		1,192,109	0	1,192,109	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	82,089		82,089	0	82,089	職員・非常勤職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	8,256		8,256	0	8,256	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	172,438		172,438	0	172,438	退職給与掛金
その他	667,753		667,753	0	667,753	
事務費	1,083,000		1,083,000	0	1,083,000	
旅費	6,201		6,201	0	6,201	旅費交通費
消耗品費	91,917		91,917	0	91,917	事務消耗品費
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	113,476		113,476	0	113,476	インク及びビフォーマンスチャージ料
通信費	239,093		239,093	0	239,093	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	24,044		24,044	0	24,044	傷害賠償保険他
職員等研修費	2,933		2,933	0	2,933	研修研究費
振込手数料	14,258		14,258	0	14,258	振込手数料
リース料	373,551		373,551	0	373,551	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	214,001		214,001	0	214,001	EBサービス手数料等
地域協力費	0		0	0	0	
その他	3,526		3,526	0	3,526	
事業費	1,962,000		1,962,000	0	1,920,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,920,000		1,920,000	0	1,920,000	
管理費	8,302,900		8,302,900	0	4,245,341	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	4,057,559		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,949,719		1,949,719	0	1,949,719	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算：指定額
機械警備費	116,103		116,103	0	116,103	
設備保全費	262,808		262,808	0	262,808	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	83,636		83,636	0	83,636	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	179,172		179,172	0	179,172	
共益費	126,611		126,611	0	126,611	
その他	1,316,100		1,316,100	0	1,316,100	
公租公課	958,834	0	958,834	0	958,834	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	0	958,834	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他 ()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	24,292,161	0	24,292,161	0	20,192,602	
差引	0	0	0	24,292,161	20,192,602	

自主事業費収入	1,920,000		1,920,000	0	1,920,000	
自主事業費支出	1,920,000		1,920,000	0	1,920,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,906,000		23,906,000		23,906,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,469,393		3,469,393	3,469,393	0	
収入合計	33,315,393	0	33,315,393	3,469,393	29,846,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	0	27,476,293	
本俸	18,359,150		18,359,150		18,359,150	職員給与・職員賞与
社会保険料	3,444,946		3,444,946		3,444,946	法定福利費支出
手当計	3,610,826		3,610,826		3,610,826	職員諸手当・職員通勤費
健康診断費	76,034		76,034		76,034	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	33,756		33,756		33,756	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	586,088		586,088		586,088	退職給与掛金
その他	1,365,493		1,365,493		1,365,493	
事務費	702,000	0	702,000	0	702,000	
旅費	10,411		10,411		10,411	旅費交通費
消耗品費	89,011		89,011		89,011	事務消耗品費
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	98,176		98,176		98,176	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	330,709		330,709		330,709	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	23,318		23,318		23,318	傷害賠償保険他
職員等研修費	7,163		7,163		7,163	研修研究費
振込手数料	14,258		14,258		14,258	振込手数料
リース料	107,553		107,553		107,553	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	21,401		21,401		21,401	EBサービス手数料等
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	2,930,000	0	2,930,000	0	2,930,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	1,840,000		1,840,000		1,840,000	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	2,207,100	0	2,207,100	0	2,207,100	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	1,078,591	0	1,078,591		1,078,591	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	518,279		518,279		518,279	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	196,394		196,394		196,394	
設備保全費	69,857	0	69,857	0	69,857	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	22,229		22,229		22,229	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	47,628		47,628		47,628	
共益費	33,656		33,656		33,656	
その他	184,323		184,323		184,323	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	33,315,393	0	33,315,393	0	33,315,393	
差引	0	0	0	3,469,393	3,469,393	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:本牧原地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	3562		3562	34068		34068	92099		92099	6116		6116	42091		42091	
	その他	6463	0	6463	400	0	400	5627	0	5627	1789	0	1789	1935	0	1935	
	介護予防ケアマネジメント費	5277		5277			0			0			0			0	
	事業・負担金収入	1186		1186			0			0			0			0	
	認定調査			0	400		400			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0		5627		5627	1789		1789	1935		1935
		収入合計(A)	10025	0	10025	34468		34468	97726		97726	7905	0	7905	44026		44026
支出	人件費	680		680	24578		24578	60368		60368	21320		21320	30224		30224	
	事務費	6633		6633	2094		2094	4838		4838	1708		1708	2546		2546	
	事業費			0	66		66	6320		6320	2231		2231	2647		2647	
	管理費			0			0	5160		5160	1822		1822	2095		2095	
	その他	0	0	0	0	0	0	447	0	447	80	0	80	26	0	26	
	利用者負担軽減額			0			0	218		218			0			0	
	消費税			0			0			0			0			0	
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
				0			0			0			0			0	
			0			0		229		229	80		80	26		26	
	支出合計(B)	7313	0	7313	26738	0	26738	77133	0	77133	27161	0	27161	37538	0	37538	
	収支 (A)-(B)	2712	0	2712	7730	0	7730	20593	0	20593	-19256	0	-19256	6488	0	6488	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防セミナー (介護予防普及強化業務委託 介護予防普及啓発事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者に対して介護予防の必要性とロコモティブシンドローム予防 認知症予防 ・高齢者自身で取り組むきっかけづくり 仲間づくり 一人暮らしの見守り ・高齢者に必要な栄養、口腔ケア等の知識と技術の習得 毎回地域の運動指導員またはシニアリズム体操講師による体操運動、認知症予防レクリエーション、リズム体操運動の後の時間に年間3回ずつ栄養士、歯科衛生士による講座	毎月第2月曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ルミエール体操 &介護予防セミナー (介護予防普及強化業務委託 地域介護予防活動支援事業)	高齢者に声掛けをするきっかけ、集いの場づくり。地域運動指導員による運動、介護予防認知症予防講座。ハマトレを習得して今後の活動に生かす。また、習得したことを地域の他の事業で生かすことができる。地域の活動に参加、活躍することの意義が分かる。 地域運動指導員講師による運動体操、認知症予防レクリエーション、栄養士、歯科衛生士による講座	毎月第4水曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動お助け講座 (介護予防普及強化業務委託 地域介護予防活動支援事業)	地域の見守り活動や自治会で活動している担い手の方がその活動に生かせる会議予防の知識を身につけてもらう。 包括看護師他によるロコモ予防の話、高齢者に必要な口腔ケア栄養についての知識と認知症予防、認知症の方との関わり方等の講座。 定例会に参加させてもらう形で開催する。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア団体支援講座 (介護予防普及強化業務委託 地域介護予防活動支援事業)	当ケアプラザで活動しているボランティア団体の方々が活動することの意味や必要性を理解し活動が活発化する。また新しい仲間を増やすことが出来る。 作業療法士による活動することによる健康増進と活動の意義についての講座。	5月 全2回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
寿和の会 (平成15～16年度 転倒骨折予防教室卒業生の会)	継続的に会を行うことで、転倒骨折を予防するとともに、仲間作りを支援する。 体に不安がある方でもレクリエーションを楽しんでいただける場を設ける。 前半は講師による体操、後半はペタンクを行う。 最後に、お茶の時間を設け、参加者の交流を図る。	第1・3月曜日 全19回 (8月・祭日除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのび元気体操	65歳以上の方を対象にした教室。 運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。 ストレッチを取り入れた体操。 体操についていけなくなった方を地域包括支援センターに繋ぎフォローしていく。	第1・3水曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健脳体操教室 1・2	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。 地域の方ならどなたでも参加できる体操教室。 脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。 1日に2クラス実施し、講師はYMCAより派遣。	第2・4木曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	男性の家事の自立と仲間づくりを支援する。 はらっぱ祭りや地域イベントでの給食ボランティアを目指す。 毎回、参加者内で作りたいメニューを考え、旬の食材を使用し和、洋、中、様々な料理にチャレンジする。 障がい者の余暇支援やはらっぱ祭り内での調理、販売も行う。今年度はさらに自立を目指すために、下準備、セッティングをしてもらい、調理はメニューを簡単にしてグループごとに全メニューを完成させる。	第2日曜日 全11回 (8月除く)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン 潮風	地域の高齢者を対象にした仲間作りのサロン。 閉じこもり防止をはかるとともに、仲間作りを支援する。 事業の運営や体操の担い手ボランティアを育成する。 当初よりボランティアグループが担い手となっていたが、 ボランティアの減少により助成金無しで運営していくた め、地域団体や無償ボランティアで企画していく。 後半はお茶の時間を設け、参加者同士の交流を図る。	第1木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン	子育て中の親子が集うサロン。 親子がリフレッシュし、子育てサークルや、育児の情報交 換、仲間作りなどを支援する。 隔月でボランティアグループによる読み聞かせを実施。 地域の薬局と連携し、サロンの中で年数回の「薬の相談 コーナー」を設ける。	第3火曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生のお菓子作り	小学生がお菓子作りに挑戦し、招待した地域の高齢者に 作ったお菓子をふるまう。 ゲームやレクリエーションを取り入れ、交流の場を提供す る。 大鳥中学校コミュニティハウスと共催で実施。 夏休みは参加者が集まらないため、今年度より年1回（バ レンタイン前）とする。	年1回(冬)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
太極拳教室	太極拳を通じ運動不足を解消し、継続的に事業を行うこと で仲間作りの場を提供する。 地域の方ならどなたでも参加できる。 来年度の自主化を目標に今年度は後方支援とする。	第1・3・5 土曜日 全27回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
折り紙教室	季節に合わせた折り紙を作成する。 リーダーを選出し、各グループに指導できるようフォローしていく。また、高齢者サロンや文化祭の飾りつけのボランティアなど地域活動の場を提供していく。	第3木曜日 全11回 (8月除く)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌って笑って ハッピータイム	カラオケやピアノに合わせて参加者全員で歌を歌う。 外出の機会を増やし、声を出すことにより健康の増進をはかる。 ボランティア育成と地域住民同士の交流を図る。 参加者の増加により月2回の開催とする。	第1・3月曜日 全22回 (8月除く)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳イキイキ教室	65歳以上の方を対象にした教室。 読み書き計算や、定期的な外出で認知症予防を図るとともに 歓談コーナーを通して仲間作りを支援する。 サポーターとしてボランティアを育成するとともに、卒業生をボランティア活動や次の事業に繋げる。	毎週木曜日 全43回 (9月・3月除く)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボラたま	障がい児に携わるボランティアの育成とともに各地域ケアプラザで7月下旬～8月下旬にかけて実施する「夏休み余暇支援事業」のボランティア研修も兼ねる。 障がいのある子どもたちとの関わり方を学び、地域生活を支援するサポーターを増やす。 障がい児者支援・啓発ネット「わっしょい」を講師に迎え、知的障がいの疑似体験を行うとともにグループワークを行い、障がい児への接し方や理解を深める。 区内6地域ケアプラザと中区社協の共催事業。	7月30日 年1回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もう一度 ENGLISH	学習の喜びを感じていただくとともに、参加者同士の交流を図る。 中学生程度の内容を、実力・経験を問わず地域の方が集い、学ぶ場を提供する。	第2・4土曜日 全22回 (8月除く)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児 余暇支援事業 ホップステップ なつやすみ	長期休暇（主に夏休み）の障がい児への余暇支援を行い、介護者のレスパイトケアを行う。 障がい児と地域の方が関わる場を提供し、地域住民の障がい理解への一助とする。 参加児童（個別支援学級在籍者）とボランティアにてゲームや軽い体操などの室内・外レクリエーション、昼食・おやつを提供などを行う。 区内ケアプラザで協力して実施し、本牧原は中学生を対象に行う。	夏 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はらっぱ祭り & はらっぱ文化祭	ケアプラザ内に地域の方やデイサービスの方、近隣の学校や保育園の作品展示の場を設け、手作りの作品を飾る。 ポレポレグッズ(障がい者施設などで作成した製品)やボランティアなどが作成した作品を販売し、地域の方々に活動を紹介し理解を深めていただく。 文化祭の最終日にはお祭りを開催し、地域の団体による活動の発表や、模擬店など、地域の方の活動の場を提供する。	11月中旬 (1週間)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハロウィン クッキー	ヘルスメイトの協力で、クッキーを作成し、ハロウィンの日に地域の子どもたちに無料で配布する。 地域の親子にも広くケアプラザやヘルスメイトの活動を知っていただく。	10月31日

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レコードカフェ	男性の外出や仲間作りのきっかけを提供し、地域にいる新たな担い手を探し、支援する。 コーヒーを提供し、音楽鑑賞をしながらくつろいでいただく。 新たな試みとして、年4回は女性のみでも参加できるオープンカフェを実施する。	毎月第1水曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
本牧さくら祭り	地域の行事に参加し、地域の施設や商店との関係づくりをすすめる。 地域の方に本牧原地域ケアプラザの存在を知ってもらうとともに足を運ぶきっかけを作る。 来館者に1人一杯さくら茶をサービスする。	平成29年 4月1日(土) ～4月8日(土)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
花やぐまち事業	花と緑にあふれる街づくりに協力するとともに、季節の花々をケアプラザの利用者の方々に楽しんでいただく。 園芸ボランティアグループ「コスモス」に花壇の手入れを定期的にしていただくとともに、種まきや苗の植え替えを年2回実施する。	毎週木曜日 全52回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	日頃、ケアプラザで活動しているボランティアに対し、職員が日頃の活動に感謝し、またボランティア同士の交流と情報交換の場を提供する。 各ボランティアから自己紹介や活動の披露をしてもらい、また職員も加わりゲームを楽しみながらボランティアとの交流を深める。	平成30年3月 実施 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアリトミック	地域の方を対象にした教室。 ピアノに合わせて転倒予防、認知症予防を意識したリズム体操を行う。 また、運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	毎月第4月曜日 全12回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
料理教室	地域の方どなたでも参加できる教室。 料理を通じて仲間作りの場を提供する。 サブコーディネーターが講師となり1回目は「飾り巻き寿司」を行った。2回目以降は外部の講師を依頼し、子どもから大人まで楽しめる料理教室を行う。2回目は「練り持ち」を行う。	平成30年4月、9月 平成31年2月 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほんもっくん広場	子どもたちに、地域の人に見守られている安心感や大人との関わりを通して様々な学びを得られる場、気軽に来られる居場所を作る。 高齢者だけでなく、もっと子どもたちにもケアプラザを利用してもらうためにフリースペースを活用する。 まずは宿題（なければドリル）を30分、終わったら自由時間とし、ボランティアとの交流の時間をもつ。 学期末には、ボランティアさんとお菓子作りを計画している。	毎週火曜日 全42回 (8月・年末年始 除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
New Years Concert	子どもから大人までさまざまな世代の地域団体に参加もらい、ダンスや管楽器演奏を披露していただく。 また、多世代が集えるような場を提供することで地域住民の繋がりができる。	平成31年1月 実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハガキ絵講座	デイサービスのボランティアがハガキ絵を地域の方に教えたいことから講師を依頼し、講座を開催することになった。地域のどなたでも参加できる講座。 新事業で新たな地域住民の参加を目的とし、また趣味を通じた仲間作りの場を提供する。	平成30年 6月8日 15日、22日 全3回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域デビュー応援講座 「コーヒーバリスタ入門」	個人の趣味や興味をボランティア活動に繋ぐきっかけとし、高齢者の仲間づくりを推進する。 ハンドドリップやサイフォンを使用したコーヒーの淹れ方をマスターする。またボランティアの模擬体験も併せて実施、活動に繋げていく。	平成30年5月16日・23日・30日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹矢健康教室	高齢者の健康増進および仲間づくり、地域の特に高齢者の健康づくりの担い手として、また生涯スポーツであることから多世代交流にも繋げていく。 腹式呼吸と胸式呼吸を用いたスポーツ吹矢教室。地域交流と共催。	平成30年6月～9月 全10回

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
寿和の会	65歳以上	54,000	地活	54,000	0	0	54,000	0	0
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
のびのび体操	65歳以上	133,440	地活	75,840	57,600	0	120,000	0	13,440
	20名		包括						
	1回120円		介護						
			生活						
健脳体操1. 2	地域の方	218,880	地活	103,680	115,200	0	192,000	0	26,880
	各コース20名		包括						
	1回120円		介護						
			生活						
男の料理教室	地域の男性	114,000	地活	54,000	60,000	0	44,000	70,000	0
	12名		包括						
	1回 500円		介護						
			生活						
ふれあいサロン潮風 (ボランティアが運営)	65歳以上	1,200	地活	1,200	0	0	0	0	1,200
	15名		包括						
	1回 100円		介護						
			生活						
子育てサロン	地域の未就園児と親	5,000	地活	5,000	0	0	0	5,000	0
	親子10組		包括						
	無料		介護						
			生活						
小学生のお菓子作り	小学生	13,000	地活	8,000	5,000	0	6,000	7,000	0
	10名		包括						
	500円		介護						
			生活						
太極拳	地域の方	135,000	地活	0	135,000	0	135,000	0	0
	10名		包括						
	1回 500円		介護						
			生活						
折り紙教室	地域の方	11,000	地活	11,000	11,000	0	0	11,000	0
	20名		包括						
	1回 50円		介護						
			生活						
歌って笑ってハッピー タイム	地域の方	132,000	地活	22,000	110,000	0	66,000	66,000	0
	各50名		包括						
	1回 100円		介護						
			生活						
脳イキイキ教室 (ふれあい助成金にて ボランティアが運営)	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	1ヶ月2500円		介護						
			生活						
ボラたま	地域の方	2,500	地活	2,500	0	0	0	2,500	0
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支計画書

事業ごとに別紙に記載してください。

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
もう一度English	地域の方	28,000	地活	0	28,000	0	0	0	28,000
	35人		包括						
	教材1冊200円		介護						
			生活						
障がい者余暇支援事業 ホップステップ夏休み	障がい児	12,560	地活	8,560	4,000	0	4,000	8,000	560
	8名		包括						
	1回 500円		介護						
			生活						
はらっぱ文化祭 &はらっぱ祭り	地域の方	100,000	地活	100,000	0	0	0	50,000	50,000
	定員なし		包括						
	無料		介護						
			生活						
シルバー体操	65歳以上	146,880	地活	31,680	115,200	0	120,000	0	26,880
	40名		包括						
	1回 120円		介護						
			生活						
ハロウィンクッキー	地域の子ども	7,000	地活	7,000	0	0	0	7,000	0
	100名		包括						
	無料		介護						
			生活						
レコードカフェ	地域の男性	40,000	地活	22,000	18,000	0	0	40,000	0
	15名		包括						
	1回 100円		介護						
			生活						
花やぐまち事業	どなたでも	15,000	地活	15,000	0	0	0	15,000	0
	定員なし		包括						
	無料		介護						
			生活						
なか区ブックフェスタ	どなたでも	3,000	地活	3,000	0	0	0	0	3,000
	定員なし		包括						
	無料		介護						
			生活						
シニアリトミック	地域の方	42,720	地活	13,920	28,800	0	36,000	0	6,720
	20名		包括						
	1回 120円		介護						
			生活						
料理教室	地域の方	24,000	地活	9,000	15,000	0	0	24,000	0
	10名		包括						
	1回 500円		介護						
			生活						
ほんもっくん広場	地域の方・小学生	34,320	地活	34,320	0	0	0	8,000	26,320
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
本牧さくら祭り	地域の方・小学生	8,000	地活	8,000	0	0	0	3,000	5,000
	1日50名		包括						
	無料		介護						
			生活						
New Years Cocert	地域の方	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名程度		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支計画書

ハガキ絵講座	地域の方 10名 1回/100円	0	地活 包括 介護 生活	0	0	0	0	0	0
ボランティア交流会	ボランティアの方 40名 無料	30,000	地活 包括 介護 生活	30,000	0	0	0	30,000	0
介護予防セミナー (介護予防普及強化業務 委託地域介護予防活動支 援事業)	地域の高齢者 20名 無料	20,120	地活 包括 介護 生活	110,120	0	0	10,000	3,400	6,720
ルミエール体操&介護予防 セミナー (介護予防普及強化業務委 託地域介護活動支援事業)	高齢者 地域の方 20名 無料	38,520	地活 包括 介護 生活	38,520	0	0	30,000	1,800	6,720
地域活動お助け講座 (介護予防普及強化業 務委託地域介護活動支 援事業)	地域の担い手、支援者 10名 無料	1,360	地活 包括 介護 生活	1,360	0	0	0	1,360	0
ボランティア団体支援講 座(介護予防普及強化 業務委託地域介護活動 支援事業)	地域の方 60名 無料	1,000	地活 包括 介護 生活	1,000	0	0	0	1,000	0
地域デビュー応援講座 コーヒーバリスタ入門	地域の方 10名 1000円	25,840	地活 包括 介護 生活	15840	10000	0	10000	15000	840
スポーツ吹矢健康教室	地域の方 15名 1回200円	35,850	地活 包括 介護 生活	5850	30000	0	30000	1650	4200
グリーンリーフ地域 勉強会(認知サロン)	認知症を介護している家族 10名 無料	12,000	地活 包括 介護 生活					12,000	
グリーンリーフ地域 勉強会(医療)	地域のケアマネジャー 40名 100円	4,000	地活 包括 介護 生活					4,000	

平成 29 年度中区地域ケアプラザ
事業実績評価結果概要（兼事業計画コメントシート）

本牧原地域ケアプラザ

総合評価 [A]

事業実績評価概要 → 事業計画書コメント

(区より)

(ケアプラより)

■ 全事業共通



・各職種による連携を通して、相談者に対する丁寧な対応が行われています。また、第3期地域福祉保健計画の推進に関しては、地域支援チーム会議の中で、日頃の業務や地区活動の参加から見出される課題を共有することができました。

・難しい地区を抱えながらも、親身な関わりにより構築されたネットワークがあります。今後は、地域福祉保健の課題に関する取組みを地域住民と共に行えるよう期待しています。

・地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援コーディネーターの5職種が連携していきます。月1回、5職種会議を開催し情報交換と地域課題解決に向けた取り組みを行います。地域支援チーム会議に参加し地域課題を区と共有し課題解決に向けた取り組みを区と共働で行います。

・地域の会議、行事に参加し地域課題の把握に努めます。ネットワークの構築に向けて日頃からの顔の見える関係作りを目指します。

■ 地域活動交流事業

<ul style="list-style-type: none">・様々な場面を通して、重点目標に取り組みが行われています。・各職種の専門性を活かし、連携して事業に取り組むことができました。特に、「ほんもっくん広場」においては福祉教育にも繋がる二次的効果が表れていました。・今後も、利用団体の自主性を尊重し、地域に必要な事業展開を支援すると共に、地域へ出向き得られる課題の解決に努めてください。	<ul style="list-style-type: none">・ほんもっくん広場の参加者は女の子も含めて順調に増えてきている。今年度は30分間の学習を定着させ、ボランティアとの交流時には全員で協力して取り組むプログラムを取り入れるなど内容を充実させていきます。・福祉保健団体の条件となっているボランティア活動をきっかけに地域支援の活動に繋がるよう支援していきます。・新事業の取り組みにより、利用のない地域住民に情報が届くよう発信を工夫していきます。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 生活支援体制整備事業

<ul style="list-style-type: none">・異なる2地区の地域資源の把握や地域アセスメントを地域に出向いて行っていただきました。今後は地域アセスメントを住民と協議する場を設けていただき、住民への働きかけをお願いします。	<p>昨年度実施した民生委員への聞き取り調査の結果、また地域で得た情報等をもとにそれぞれ異なる2地区の地域課題について、協議する場を設定します。</p> <p>第4南地区に関しては、「買い物」や「移動困難者」など生活課題の解決に向けての取り組み、また「新本牧地区」に関しては顔が見える関係づくりの構築を進められるよう働きかけを行っていきます。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 地域包括支援センター運営事業

<ul style="list-style-type: none">・身近な場所での認知症サポーター養成講座の開催や、認知症サロンの定例化とその周知など、着実な取組が展開されています。・元気づくりステーションの活動支援を引き続きお願いします。また、地域での集いの場の自主化は、毎年計画的に進められるように支援を継続してください。	<ul style="list-style-type: none">・商店の店先を借りて、店主と訪れたお客さんを対象にした認知症サポーター養成講座を開催してきます。地域住民と共に地域課題の解決に向けた話し合いの場に定期的に参加し、地域に必要な取り組みを進めていきます。・今後も各々の地域課題を踏まえて、元気づくりステーションの開催や地域行事の支援を行い、地域に対する丁寧な支援を継続していきます。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

区の評価概要に対して、30年度の目標等について右側の欄に簡単に記入し、事業計画書と一緒に提出ください。